

政治分野のジェンダー不平等、 わたしたちの世代で解消を

一般社団法人NO YOUTH NO JAPAN 代表理事
FIFTYS PROJECT代表 能條桃子

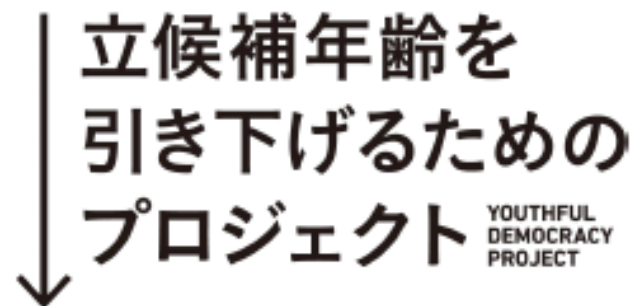


一般社団法人
NO YOUTH NO JAPAN

若い世代の政治参加促進

 @noyouth_nojapan

<https://noyouthnojapan.org>



立候補年齢
引き下げプロジェクト

被選挙権年齢18歳実現

 @hikisage.jp

<https://hikisage.jp>



一般社団法人 NewScene
FIFTYS PROJECT

政治分野のジェンダー不平等、
私たちの世代で解消を

 @fiftys_project

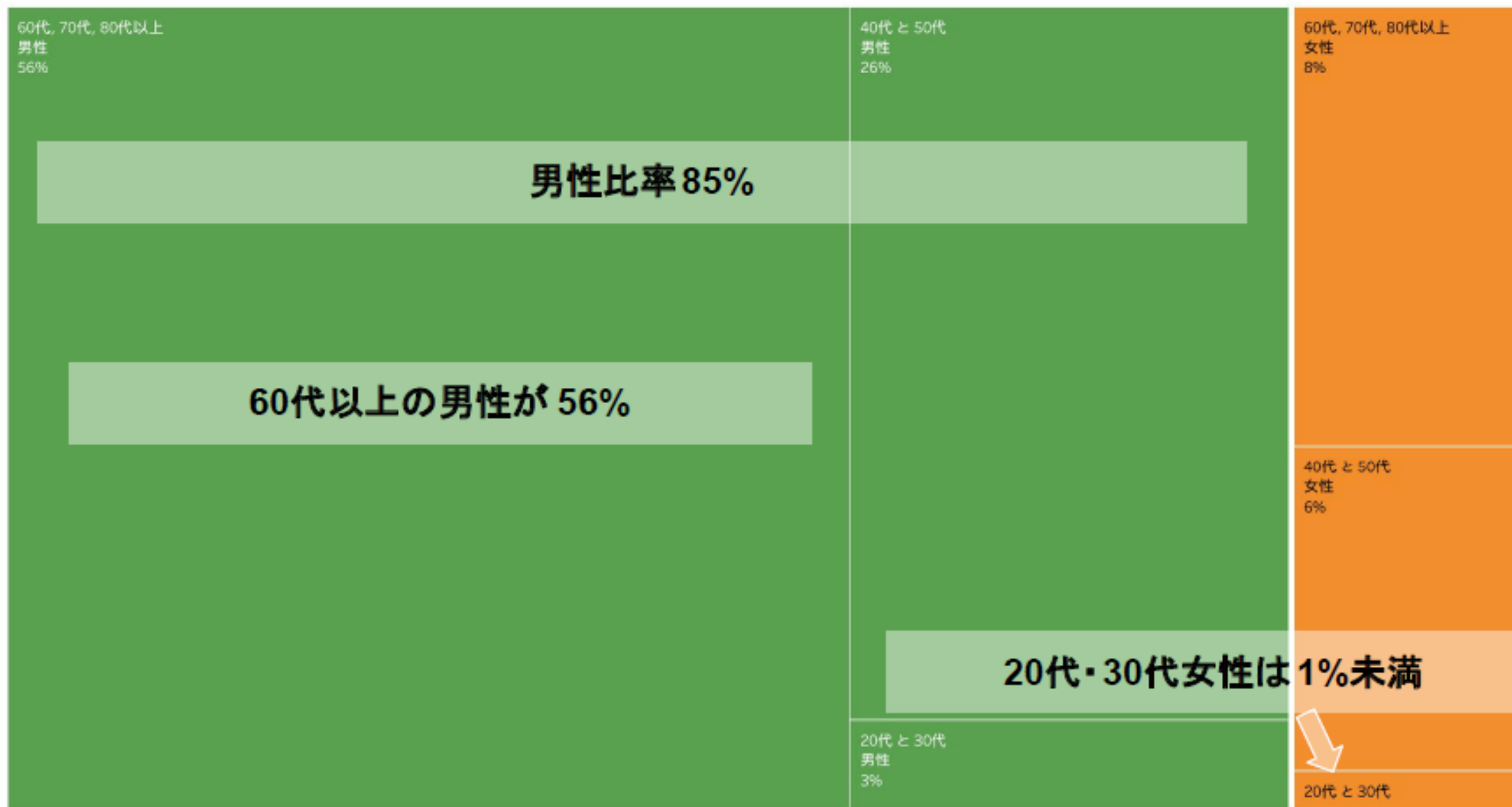
<https://fiftysproject.com>



政治分野のジェンダーギャップ、わたしたちの世代で解消を
20代・30代の女性、ノンバイナリー、Xジェンダーの立候補を
呼びかけ、繋ぎ、一緒に支援するムーブメント

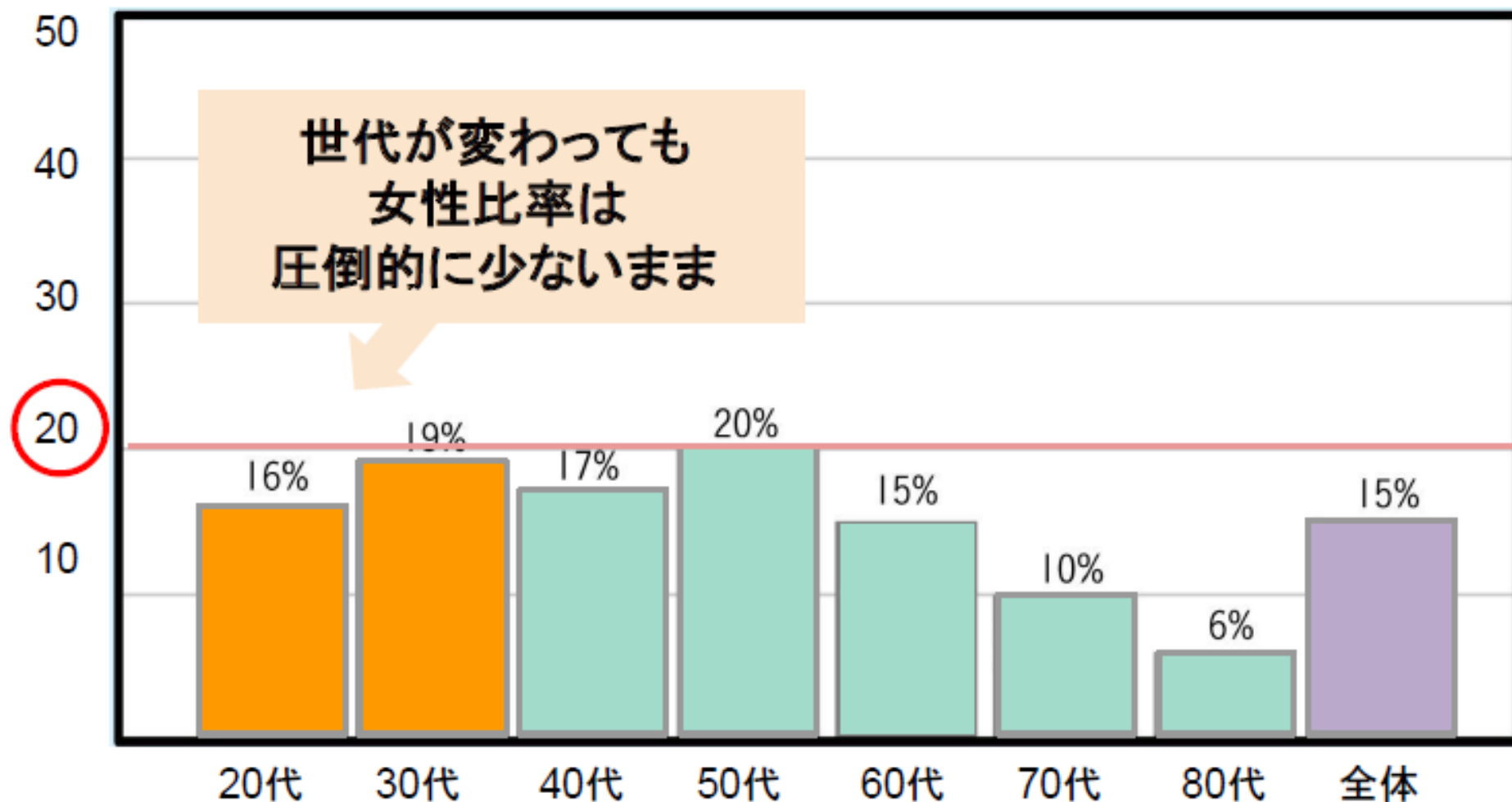
高齢男性に占められた地方議会

市町村議員の年代・性別別の割合（令和3年7月現在）



地方議会の女性比率は世代を越えて改善していない

女性比率(%)



20代・30代でも依然として世代内でのジェンダーギャップが存在

私たちの人生に
「政治家」になる
選択肢を。

Zoomで
面談実施中!
~11/6(日)

一次締切



FIFTYS PROJECT

立候補
しよう。

政策項目への賛同

1. 選択的夫婦別姓・婚姻の平等（同性婚）の実現に賛成、推進する
2. 包括的性教育の普及、緊急避妊薬アクセス改善に賛成、推進する
3. トランスジェンダー差別に反対する
4. 女性議員を増やすための
クオータ制などアフーマティブアクションに賛成する

選挙準備CAMP→オンライン勉強会・コミュニティ



・2022年11月27日に「候補者向け選挙準備キャンプ」を開催
コミュニティづくりは勿論、実際の選挙を想定し、候補者としてのストーリーの作り方、広報戦略やボランティアオーガナイズなどを学びました。

・FIFTYS PROJECTが支援する16名(会場12名、ZOOM4名)が参加。プロジェクトでは交通費も支給し、全国にいる候補者を支えています。

・当日の様子は[note](#)にまとめています。
ぜひご覧ください



選挙ボランティアイベント



- ・ 2023年3月6日「女性政治家を増やすために私たちに何ができる？」を開催

- ・ 現地には30人が参加
- ・ 全国の候補者とオンラインで繋がる

- ・ 選挙の時に使われる専門用語
- ・ 最低限知っておくべき公職選挙法
- ・ ハラスメントへの介入方法
- ・ SNSで候補者を応援するには？
- ・ 街頭に立ったら何ができる？
- ・ 私たちが望む新しい選挙とは？



ハラスメントのない選挙運動を！ポスター



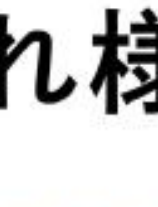
・ FIFTYS PROJECTでは、あらゆるハラスメントのない選挙を目指しています。

・ 選挙事務所に掲示する事でハラスメントを防止し、またハラスメントが起きてしまった際に各自ができる事をまとめたポスターを製作しました。

・ 3/8の国際女性デーに公開予定の新たなウェブサイトでは、ハラスメントの説明だけでなく、相談先などについてもまとめたページも公開します。



統一地方選挙2023 お疲れ様でした!



皆さんのおかげで
FIFTYS PROJECTに参加していた候補者から
24名の議員が生まれました!

小林ゆうき [北海道旭川市]	酒井なつみ [東京都江東区]
なつぼりめぐみ [北海道釧路市]	さこうもみ [東京都武蔵野市]
石川かおり [茨城県日立市]	鈴木ちひろ [東京都国分寺市]
なめかわ友理 [茨城県水戸市]	てらだはるか [東京都杉並区]
竹元かな [長野県下諏訪町]	西崎ふうか [東京都豊島区]
西あきこ [長野県諏訪郡富士見町]	ひがしゆき [東京都品川区]
渡辺よう [長野県諏訪郡富士見町]	やがさきさやか [東京都渋谷区]
石森愛 [東京都練馬区]	かとうあやの [神奈川県藤沢市]
うすい愛子 [東京都北区]	稲永ともみ [神奈川県小田原市]
大貫はなこ [東京都台東区]	森野かほ [静岡県駿東郡清水町]
おのみずき [東京都世田谷区]	イシワタマリ [京都府福知山市]
オルズグル [東京都世田谷区]	風間あさみ [神奈川県横浜市]

※市川まみさん(静岡県富士市)は日本会議賛同者と選挙活動を展開していたことが分かり、ジェンダー平等の理念と矛盾すると判断し、FIFTYS PROJECT LISTから削除しました。

立候補した理由やきっかけ

内閣府調査

男性

88.1%

議員となり課題を
解決したいという
使命感から

56.6%

地元からの要請

28.4%

政党や所属団体
からの要請

22.0%

政治家からの
後継の要請（声掛け）

11.3%

政治家である/
あった親族の後継

女性

86.4%

議員となり課題を
解決したいという
使命感から

78.1%

地方政治に、
女性の声を
反映させるため

55.2%

政党や
所属団体からの要請

37.4%

地元からの要請

26.4%

政治家からの
後継の要請（声掛け）

FIFTYS PROJECT調査

FIFTYS PROJECT参加候補

100%

地方政治に、女性の声を
反映させるため

76.1%

議員となり課題を
解決したいという使命感から

38.1%

ロールモデルにあこがれて

28.5%

マスメディアやSNSの情報
から政治家になりたいという
気持ちが育まれたため

23.8%

政党や所属団体からの
要請があったため

**候補者・議員を生み出し後押しする
私たちの世代のフェミニズム運動**

**地方議員・地方議会の
意義を増やす、再定義する**

次の目標

**2027年の統一地方選挙
100人の立候補を支援する**



ジェンダー平等を基礎から学ぶ

FIFTYS PROJECTゼミ

第3期

2025年9月～2026年3月

毎月第4土曜
14時～16時開催



2025年9月～2026年3月

現地開催の会場一覧



全国18地域開催予定!

*回ごとに開催地域を変更する予定の会場

プロフィールリンクをチェック

申し込みはPeatixサイトから!

FIFTYS
PROJECTゼミ

第3期

スケジュール&講師 [初回ガイダンス+全6回]

第0回 9月27日(土) 14:00~

ゼミ3期のガイダンス FIFTYS PROJECT

2025年9月~2026年3月 毎月第4土曜 14:00~16:00開催

FIFTYS PROJECTゼミの目的やそれぞれの講義に向けた参考図書のご紹介などを行います。また、初回の交流会として、どのようなことをこのゼミに期待しているのか? など参加者の希望をお伺いします。

第1回

10月25日
(土) 14:00~

講師 福田和子さん
#なんでないのプロジェクト代表、FIFTYS PROJECT副代表、
東京大学ジェンダー・エクイティ推進オフィス特任研究員



すべてのひとのSRHR(性と生殖に関する健康と権利)を保障する社会へ

日本におけるSRHR(性と生殖に関する健康と権利)をめぐる現状を理解し、政治との関わりについて学びます。また、すべての人の生活を豊かにするために、SRHRをどのように保障していくことができるのかを考えます。

第2回

11月22日
(土) 14:00~

講師 井田奈穂さん
一般社団法人あすには代表理事



選択的夫婦別姓から考える、政治に根づく家父長制

日本の女性運動家が長らく声を上げ続けてきたのにもかかわらず、なぜいまだに選択的夫婦別姓が実現されないのかについて一緒に考えます。選択的夫婦別姓の法制化に向けた、議員陳情や正しい理解を促進するためのご活動について伺います。

第3回

12月27日
(土) 14:00~

講師 井谷聡子さん
関西大学文学部 教授



スポーツから考えるジェンダー・セクシュアリティ

学校の部活からオリンピックなどの国際的なスポーツイベントまで、身体、ジェンダー、セクシュアリティに関する規範がどのように作用し、差別や排除を生み出しているのかについてお伺いします。また、それらを解消するための政治の役割についてご講演いただきます。

第4回

1月24日
(土) 14:00~

講師 小安美和さん
株式会社Will Lab 代表取締役



地方から考えるジェンダーギャップ

地方におけるジェンダーギャップの現状についてお伺いします。さらに、それらの現状を少しでも変えていくための一歩として、まちづくりの中心にジェンダーの視点を据えることが重要である理由について、具体的な事例を交えてお話しいたします。

第5回

2月28日
(土) 14:00~

講師 上野千鶴子さん
社会学者、東京大学名誉教授、
認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク(WAN) 理事長



どうなる、介護保険?ジェンダーと政治の視点から

介護の社会化を目指した介護保険の改悪が続く現状について共有し、どのように介護保険を守ることができるのか?世代間分断を煽る言説に対抗し、どのように連帯をつくることができるのか?一緒に考えたいと思います。

第6回

3月28日
(土) 14:00~

講師 平田仁子さん
一般社団法人Climate Integrate代表理事



気候変動とジェンダー

日本を含め、世界各地で頻発する熱波、ゲリラ豪雨、洪水や山火事など。未来を考える上で、切っても切り離せない問題の一つが気候変動です。政府だけではなく、それぞれの地域でも脱炭素政策が求められていますが、策定にあたってはジェンダーの視点も重要な要素です。講義では気候変動の基礎や現状についてお伝えしながら、ジェンダー視点から見た気候変動対策についても、一緒に考えていければと思います。

「わたしたちのバトン基金」の設立について

- ジェンダー平等を目指し、地方議会に立候補する
20代・30代の女性、ノンバイナリー、Xジェンダーへの金銭的援助を目指す
FIFTYS PROJECTから生まれた(連携して活動を行う)新しい枠組みです。
- 候補者への支援金を理念に共感してくださる方々からの寄付で集めます。

わたしたちの
——
バトン基金



公式HP



<https://www.batonkikin.com/>

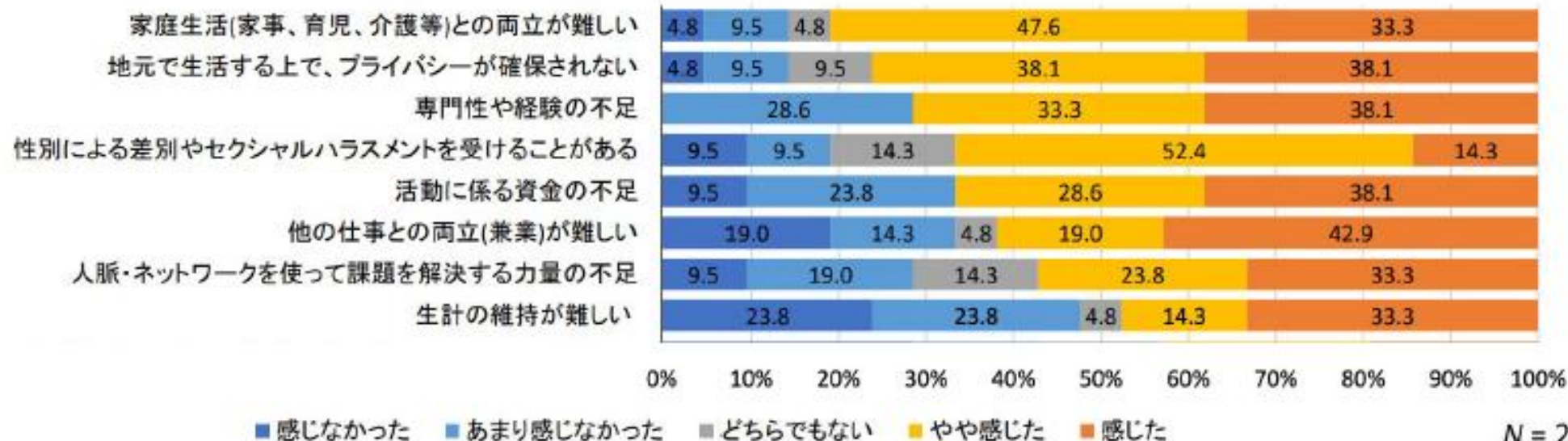
お問い合わせフォー
ム



batonfoundation@gmail.com

2023年立候補者に聞きました！

Q4. 立候補を決める段階から選挙期間の間に、次のような問題を感じましたか？



N = 21

調査:一般社団法人社会調査支援機構チキラボ ©2023一般社団法人社会調査支援機構チキラボ

資金不足が課題: 70%

生計の維持が難しい: 50%

▶ 資金面が課題

FIFTYS PROJECT議員の実際の声

Q:どんな金銭的支援があれば立候補する 20代30代女性が増えると思いますか？

貯金がなくても
挑戦できる
仕組みが必要

退職後から選挙運動の
始まる前までの期間が無給だった。
政治活動や選挙運動にかかる費用もちろんだが、
貯金がなくても挑戦できる支援が必要と思う
(前職:小学校教員 非常勤)

無所属女性に必要なのは
供託金・活動資金の支援

立候補考えるまず 1番の壁は金銭面。
貯金なしワーキングプアだったので、
供託金の貸出・選挙活動／政治活動資金の支援があると、
党に入らずとも
無所属でも地方から 女性が出やすいかなと思う
(前職:宿泊業アルバイト)

立候補する人をひとりにしない



わたしたちの
——
バトン基金



目標金額 **1000** 万円

募集期間 **11.6 ~ 2026 1.31**